福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福知山産業フェア事業							事業コード	070102310101	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化						施策コード	812	
事業担当	所属	250500 産業部産業課				所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	160 頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山産業フェアは商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で開催される北近畿最大規模の物産展に情報交換・異業種交流の場を設けることで、出展企業・団体の取引機会の拡大促進、産業育成及び地域活性化を図る目的で開催しており、平成16年の第1回から後援している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 商工会議所では出展事業者へのアンケート調査は実施されているものの、福知山産業フェアの開催による経済効果を示すような詳細データの収集・分析が行われていない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で本格的な物産展を開催し、情報交換、交流を通じて取引機会の拡大、交流産業育成と活性化を推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 「福知山産業フェア」の開催に対して補助金を交付し、市内企業等の取引機会の拡大、交流産業の育成と活性化を推進する。

対象者	市内事業者	対象者数	3,842	単位あたりコスト	1.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	福知山産業フェア実行委員会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	3,800	第17回福知山産業フェア事業補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,800	3,800	3,800	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		3,800	3,800	3,800	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	3,800	3,800	3,800	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	3,800	3,800		
	③ 執行額	3,800	3,800		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.09 / 0.00	0.07 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	720	560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,520	4,360		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	福知山産業フェア事業基金繰入（地域振興基金）	基金繰入金	3,800	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	25,000	25,000	25,000	25,000		
	来場者数	目標値		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	者	89	94	94	97		
	出展企業数	当初見込		90	90	100	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	福知山産業フェア実行委員会に対し、福知山の産業振興につながる福知山産業フェアの企画立案を求める。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○令和7年度における取引機会の拡大に繋がった事業者は出展者97事業所のうち64事業所であり、約2/3の出展者が出展した成果を実感する結果となった。 ○取引機会の拡大以外では、イベント規模の大きさに満足する声がある一方で、気候や実施日に対し改善を求める声もあった。 ○本フェア開催にかかる全体事業費が年々増加傾向にあったが、R7年度は展示・出展料の増加や経費の削減に伴い減少した。 ＜参考＞R5実績9,765千円からR6実績11,407千円と1,642千円の増となっていたが、R7実績は10,351千円と前年比から1,056千円の減となり、経費削減に成功している。（主な理由：展示・出展料573千円増、シャトルバス経費434千円減）
現状の課題に対する改善策	○本フェアの全体事業費（各事務費）が高騰している現状を鑑み、開催時期や方法、規模について、参加出展企業の大切な取引機会の拡大の場が失われないよう福知山産業フェア実行委員会での協議が必要となる。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福知山市産業支援事業							事業コード	070102310109		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施策名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化						施策コード	812		
事業担当	所属	250500 産業部産業課				所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	160	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市販路開拓支援事業補助金交付要綱、福知山市自社ECサイト構築支援事業補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	NEXTふくちやま産業創造事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 あらゆる産業分野において、経営上の課題を抱える中小企業者、農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行い、本市産業の担い手を育成するため、平成30年1月から「福知山産業支援センター」を運営し、相談業務を中心とした事業者支援を実施している。発足からの8年間における累計相談件数（令和8年1月時点。以下同様。）は7,687件、累計相談事業者数は656者である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 産業支援センターの取組を広く市内に周知し、更なる地域内の事業者への支援や起業を志す人の掘り起こしにつなげ、生産年齢人口の減少に伴う中小企業・小規模事業者の減少に対応する新たな地域経済の担い手を育成し地域産業の活性化を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山産業支援センターを運営し、あらゆる産業分野において経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うことで地域経済の活性化を図る。また、市内で開発・生産された自社商品及びサービスを周知するため展示会等へのイベントに出展する際の経費や、ECサイトを構築し販売する経費の一部を補助することで、事業者の販路開拓を支援し産業の振興を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇市内の中小企業者等や起業を志す人を対象として相談業務を実施し、事業者の魅力向上や事業拡大のために必要な助言を行う。 〇相談内容により、必要に応じて各関係機関への連携を行う。 〇地域内の事業者に広く産業支援センターを周知し、より多くの事業者への支援を行う。

対象者	市内事業者	対象者数	3,842	単位あたりコスト	7.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山産業支援機構（福知山産業支援センター）					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	106	産業支援センター共益費			
委託料	26,741	産業支援センター運営業務			
負担金補助及び交付金	392	販路開拓支援補助金、自社ECサイト構築支援事業補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	30,297	28,710	24,669	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	30,297	28,710	24,669	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	1,771	12,060	12,045	
	③ 府支出金	13,337	625	280	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	15,189	16,025	12,344	
決算情報	① 流充用額	△ 433	0		
	② 配当予算	29,864	28,710		
	③ 執行額	27,432	27,239		
	④ 執行率	91.9%	94.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.43 / 0.00	0.07 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,440	560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		30,872	27,799		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	福知山市産業支援事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	商工費国庫補助金	12,891	17	
	福知山市産業支援事業（きょうと地域連携交付金）	商工費府補助金	140	26	
	福知山市産業支援事業基金繰入（地域振興基金）	基金繰入金	12,136	36	
	福知山市産業支援事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	1,000	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件/年	127	135	188	218		
	販路拡大や売上up等につながった件数	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	127%	135%	188%	218%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件/月	78	77	83	78		
	相談件数	当初見込		60	60	60	60	60	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地域内事業者や起業を志す人を対象に産業支援センターの活動や相談者の声を広く周知する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・アイデア出しによる成功事例や事業者同士のマッチング事例は着実に増えている。また、利用者への聞き取り調査においても高い満足度やセンターの必要性に関するコメントをいただいている。しかしながら、リピーターは増加傾向にあるが、新規相談者の割合が相対的に低くなっており、新規相談者の確保が求められる。 ・令和7年度の相談者のうち、市外利用者が27%を占めているため、市内相談者への優先的な利用が求められる。
現状の課題に対する改善策	・センターの認知度を向上させることで新規相談者を獲得し、アイデア出しによる成果事例や事業者間のマッチング事例をさらに増やしていく。そのために、従来から実施している①ホームページやSNS等での活動事例の発信、②予約時に新規相談者の優先相談枠を設け、新規相談者獲得をめざす。 ・市外相談者の相談料を有料化し、新たな歳入を確保する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業							事業コード	070102310110		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化							施策コード	812	
事業担当	所属	250500 産業部産業課					所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	160・161	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業要領										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、経営状況が悪化した中小企業者の事業継続を支援するため、令和元年度に市の単独事業として創設したもの。資金調達に係る利子負担を軽減する制度。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 中小企業者の資金繰りの安定化を図り、経営を継続させること。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営状況が悪化した中小企業者が利用する融資に対して、市の単独事業として利子補給を実施し、経営の継続、再生、安定を支援する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 新型コロナウイルス感染症発生の影響を受け、業況の悪化により融資を受けた市内中小企業者に、初回から60回目までに支払った利子の1/2を補給する。 （1）補助対象者　市内で事業を行う個人事業者、法人等 （2）対象融資　ア 新型コロナウイルス対応緊急資金（京都府） イ 新型コロナウイルス対応に要する融資であって市長が認めるもの

対象者	市内中小事業者	対象者数	3,822	単位あたりコスト	5.9
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	35	郵送料			
負担金補助及び交付金	20,646	利子補給金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		30,274	21,830	11,180	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			30,274	21,830	11,180	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		30,274	21,830	11,180	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		30,274	21,830		
	③ 執行額		29,300	20,681		
	④ 執行率		96.8%	94.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.05 / 0.55	0.04 / 0.60	/	/
	② 概算人件費		1,940	2,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			31,240	22,681		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	20,670	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	100	100	100	100		
	受給者の事業継続割合	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	20,249	35,019	29,263	20,681		
	利子補給金額	当初見込		17,990	30,466	30,274	21,830	12,217	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	福知山市新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業の受給者に対し、利子補給を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・新型コロナウイルス感染症拡大は終息したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により手元資金・運転資金を必要とした事業者に対して、利子補給することにより、事業継続を支援することができている。 ・国庫財源を原資とする新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給事業基金繰入金を令和6年度末をもって全額取り崩したため、他の財源を確保する必要がある。
現状の課題に対する改善策	・本事業の財源として、令和8年度においてはふるさと納税基金繰入金を充当する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	商工・産業政策事務管理事業							事業コード	070102320101	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	2 産官学金連携を通じた経営力の強化						施策コード	812	
事業担当	所属	250500 産業部産業課				所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	161・162 頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 産業課の施設管理、一般管理業務。 産業部管理の施設、備品等一元管理し、業務の効率化を図っている。 福知山市の商工振興及び産業の発展、地域活性化等を目的とした啓発活動として、商工会議所や商工会と共に、市民や事業者に対して経済講演会を開催。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 部内の業務効率化の徹底により、生産性の向上とコスト削減を図る。 より効果的な経済講演会の実施のため、参加者増の取り組みや実施効果の検証。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市の商工業振興及び産業の発展、各事業の円滑な推進、産業政策管理事務の適切な運営を図る。 企業経営や産業振興などに関心を持ち、地域の活性化につながる講演会を開催することにより産業振興を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 部内各課に対して、DX推進、事務の見直し等の業務効率化を徹底してもらい、事務管理費の削減をめざす。 効果的な経済講演会実施のため、商工会議所等と密に連携し、特に事業者等への周知徹底を図る。

対象者	市民	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、公立大学法人福知山公立大学					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	17	合同企業説明会旅費ほか			
需用費	1,567	用度物品代金、電気代、フラットファイル等消耗品ほか			
役務費	449	郵送料、電話代、建物総合損害共済基金分担金、自動車損害共済分担金ほか			
委託料	160	産業部書庫管理業務、昭和新町駐車場管理業務			
使用料及び賃借料	1,428	高速道路通行料、デジタル複合機使用料			
負担金補助及び交付金	440	経済講演会講師招へい費用負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,098	2,768	2,544	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		3,098	2,768	2,544	
予算財源内訳	① 一般財源	3,085	2,682	2,447	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	13	86	97	
決算情報	① 流充用額	1,578	1,328		
	② 配当予算	4,676	4,096		
	③ 執行額	4,640	4,061		
	④ 執行率	99.2%	99.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.59 / 1.05	0.17 / 0.32	/	/
	② 概算人件費	7,660	2,256		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		12,300	6,317		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	建物総合損害共済災害共済金（産業課）	雑入	5		43

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	2	2	2		
	経済講演会の実施回数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広く市民・事業者に対して、経済・社会動向・企業経営等の専門的な知識取得、学びの場を提供するため、経済講演会を実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	事務管理経費として一括管理することで、各事業の事務処理を円滑に行えることができた。 商工会議所・商工会と連携し、市民や事業者に対して、経済・社会動向・企業経営等の学びの場を提供できた。 ※令和8年度からは本事業を商業観光課と分割し、事業名を「産業一般管理事業（産業課所管）」と「商業一般管理事業（商業観光課所管）」に変更する。
現状の課題に対する改善策	部内の業務効率化の周知徹底により、生産性の向上とコスト削減を図る。 より効果的な経済講演会の実施のため、商工会議所・商工会と連携を密にし、参加者増の取組や実施効果を検証する。